

花見寺だより

第六十六号

(令和五年一月号)

発行元
修性院 広報部
(責任者 ミック 大友)

荒川区西日暮里
3-7-12

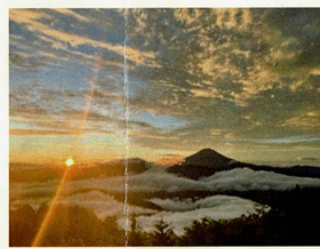
☎ 03-3823-0873

FAX 03-5832-9910

賀正

令和五癸卯歳正月

檀信徒の皆様、明けましておめでとうございます。コロナ禍、またウクライナ戦争と世の中暗いことばかりですが、日蓮聖人がいわれた「冬は必ず春となる。いまだ昔よりきかず、みず、冬の秋とかへれる事を。」を信じ力強く「忍土(にんど)」「娑婆世界」といわれるこの世で共に生きていくことはあります。本年も宜しくお願い申し上げます。



霊山七面山よりのご来光、富士山を臨む

日蓮聖人のお手紙『富木殿御書』

十二日酒輪、十三日竹ノ下、十四日車返、十五日大宮、十六日南部、十七日このところ。いまださだまらずといえども、大旨はこの山中心中に叶て候へば、しばらくは候はんずらむ。結句は一人になって日本国に流浪すべき身にて候。又たちどまる身ならば見参に入候べし。恐々謹言。
十七日
ときどの
日蓮〔花押〕

解説

佐渡流罪の赦免後、鎌倉へと帰還した日蓮聖人は三度目の諫め(文永十一年(一二七五)四月八日(お釈迦さま生誕の日)を待所所司平頼綱等鎌倉幕府の役人に申し出たのですが用いられず、波木井実長公の招きにより、甲斐の国身延へ入山されます。その道中を綴ったのが、『富木殿御書』(ご真筆は千葉県鴨川市本山鏡忍寺に格護されています。)であります。
五月十一日(伊豆法難の日)、鎌倉を出立、酒匂(小田原市)、十三日竹の下(静岡県小山町)、十四日車返(静岡県裾野市)、十五日大宮(富士宮市)、十六日南部(山梨県南部町)、そして十七日に身延へと到着されます。早速、下総国中山に住した富木常忍氏に現況を伝えられたのでした。このお手紙によれば、当初は身延へ定住するとお考えにならなかったようですが、一か月後にこの地をご自身の終生の場と決せられたようであります。



身延山だより

『富木殿御書』にありますように、文永十一年五月十七日に身延山に入られ、『庵室修復書』に「去文永十一年六月十七日に、この山のなかに、木をうちきりて、かりそめに庵室(あじち)をつくりて候し」とありますように、一か月後に身延山に庵室を設けら、定住を決せられたのであります。

今年は、日蓮聖人身延御入山、開創七五〇年という慶祝の歳をお迎えいたします。身延山では、五月十七日に日蓮宗の報恩大法要として日蓮宗青年会の僧侶によります二百五十人を超える身延山総門からの唱題行脚、菅野日彰日蓮宗管長大導師による報恩法要が行われ、全国から数多くの僧侶・檀信徒が参列する予定です。

六月十三日より十八日の六日間、六座の身延山開創慶讃大法要が執り行われます。殊に、十八日(日曜日)は古式ゆかしき入山行列、十間四面の御草庵跡での法要(女優若村麻由美さんの日蓮聖人御遺文朗読、常唱殿において若村さんの「一人語り」等が催されます。五十年に一度しかない身延山の大法要へ是非御参列下さい。

令和五年の年回忌表

一周忌	令和四年に亡くなった方
三回忌	令和三年に亡くなった方
七回忌	平成二十九年に亡くなった方
十三回忌	平成二十三年に亡くなった方
十七回忌	平成十九年に亡くなった方
二十回忌	平成十三年に亡くなった方
二十七回忌	平成九年に亡くなった方
三十三回忌	平成三年に亡くなった方
五十回忌	昭和四十九年に亡くなった方

奉納感謝

- 一、彫刻家 堀進二作
「色彩色紙」
陶芸家 加藤健作
「茶器」
川西葉子殿
- 一、金五万円
片岡正光殿

FAX番号の変更

9月より修性院のFAX番号が変わりました。

新しい番号は **03-5832-9910** です。

宜しくお願いいたします。



御草庵跡大法要



内野法主様、若村麻由美様と記念撮影

本年の予定

一月二十八日(土)午後一時……新春祝禱会
 三月二十一日(月) 春分の日(午後一時)……春彼岸塔婆供養法要
 六月十八日(日)……身延山久遠寺団体参拝(開創七五〇年法要参列定)
 七月十三日(木)午前十時……新盆・迎え盆法要
 七月二十一日(金)午前十一時……孟蘭盆施餓鬼説教及び大法要
 八月上旬(予定)……寺子屋
 九月二十三日(土) 秋分の日(午後一時)……秋彼岸塔婆供養法要
 十月十六日(月)午前十一時……お会式説教及び大法要
 十一月十一日(土)……身延山久遠寺輪番奉仕参拝
 十一月二十三日(木) 勤労感謝の日(午前十一時)……布袋尊大祭祈禱会及びコンサート
 ※唱題信行会は二月第四土曜日午後三時から行う予定です。
 ※六月十八日身延山久遠寺団体参拝、参加希望の方は寺へご連絡下さい。
 ※諸行事はコロナ感染状況を見ながら内容を決定して参ります。

布袋尊大祭

谷中七福神のひとつ「布袋尊」の大祭が、十一月二十三日(水) 勤労感謝の日、コロナ感染対策のため四座(午前十時・午前十一時・午後一時・午後二時)に分けた加持御祈禱が行われました。少し雨模様の天気にもかかわらず、二百名近くの方々が参詣、千葉県市川市にあります日蓮宗の修行場で寒帯百日以上の苦修練行をされた修法師七名による霊験あらたかな御祈禱会が執り行われました。

いつもですと、お昼は炊き込みご飯や豚汁等がふるまわれ、その後、コンサートが行われるのを楽しみにしていた方々が多いのですが、コロナ感染状況に鑑みて今年も加持御祈禱のみの大祭となっていました。本年こそ、修性院らしい「布袋尊大祭」が行われることを待ち望んでおります。



築地本願寺で住職講演

十二月九日(金)午後七時より一時間半にわたって「日蓮聖人の観た法華経」と題して講演会が浄土真宗本願寺派築地本願寺「GINZA SALON」(竹中銀座ビルディング五階)で催されました。場所は銀座二丁目、住職が招かれますのは昨年に引き続き二度目となります。サロンにはさまざまな宗派の僧侶、また、ユーキャンの編集者等が聴講に参加し、住職は法然上人と日蓮聖人の価値観の違い、法華経観等を分かり易く講義しました。講演後の質疑では、『何で法然上人は日蓮聖人と同じ比叡山に学んだのか。』その後の方向がちがったのか。』というような質問があり、丁寧に住職は返答していました。
 この模様は、築地本願寺「GINZA SALON」の動画で無料配信されています。



日常生活の中の 仏教用語

出世(しゅつせ)

現代では、偉くなること、地位が上がることを出世といいますが、元々の出世の意味にはふたつありました。ひとつめは、お釈迦さまが世の人々を導くためにこの世に出現されたことをいいます。ふたつめは、世俗の生活を離れて僧侶になることをいいます。
 偉くなること、地位が上がることを出世といった由来は、平安期の僧侶には貴族出身の人が多くあり、その人たちが出家したことを出世といい、また、位の高い僧侶になると世間に知られ有名になることを出世したといわれたことにあるようです。

寺からお願い

- 維持管理会費(年一万円以上)の納入を宜しくお願いいたします。
- 御不幸が発生しましたら、先ず寺の方へ一報下さい。お通夜・葬儀の日取りを決めたいと思いますので宜しくお願い致します。(住職・副住職の都合の悪い日もありますので)
- 修性院の本堂や書院は檀信徒の皆様に使っていただくためにありますので、お通夜や葬儀にも遠慮なく使用してください。

編集後記

明けましておめでとうございます
 昨年末はサッカーのワールドカップが開催され、日本チームは目標こそ達成出来ませんでした。強豪国相手に二度勝利するなど、その戦いっぷりに世界は驚きました。今年の3月には野球の世界大会があります。今後も日本の若い力が世界で活躍することを期待しています。